



「キャッサバ」の収穫

那珂川と日本有数のアマゾン展示に取り組むなかがわ水遊園では、アマゾンで主食として親しまれている農作物キャッサバの栽培を行っています。

那須烏山市の果樹農園「トロピカル・プラネット」の協力のもと、5月に園内の畑に定植し、収穫時期を迎えました。

新型コロナウイルス感染症対策措置として、今年はスタッフだけで収穫を行います。収穫したキャッサバ芋は、2022年夏の体験講座で使用する予定です。

1 概要

園内の畑（450m²）のキャッサバ10本の収穫

2 経緯等

令和2（2020）年10月 前年にトロピカル・プラネットが栽培するキャッサバのオーナー制度に申込みオーナーとなったキャッサバを収穫（15kg）し、試食・調理方法を検討の上、園内栽培と体験事業等を決定。

令和3（2021）年5月 トロピカル・プラネット指導の下、園内にキャッサバ苗10本を定植。

10月20日（水） 午後2時 キャッサバの収穫

※雨天時は10月26日（火） 午後2時に変更

収穫したキャッサバはボイル処理・冷凍保存し、令和3（2021）年11月から工事休館のため、来年夏に料理体験の講座を行うとともに、来春も園内畑にキャッサバを定植し、秋に収穫及び料理体験を計画する。

キャッサバ（学名：*Manihot esculenta*）

- ・昨今ブームとなった「タピオカ」の原料ともなる。
- ・キントラノオ目トウダイグサ科イモノキ属の熱帯低木（0.5～2m）、和名はイモノキ（芋の木）。
- ・原産地は、メキシコ、グアテマラ、ブラジル。
- ・サツマイモの先が細長くなったような形の根茎部分を食用とする。
- ・南米ブラジルやアフリカのナイジェリアの他、インドネシアをはじめとする東南アジア諸国など、世界中の熱帯地域で栽培されている。ブラジルやアフリカでは主食とする地域もある。

3 お問い合わせ

広報担当：前田・大橋 maeda@tnap.jp 施設担当：高橋
〒324-0404 栃木県大田原市佐良土 2686 栃木県なかがわ水遊園
Tel. 0287-98-3055(夜間&休園日 0287-98-3060) Fax0287-98-3115
<https://tnap.jp>